

事 務 連 絡

平成 27 年 2 月 26 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 矢ヶ崎 忠夫

**医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律  
第 2 条第 1 5 項に規定する指定薬物及び同法第 7 6 条の 4 に規定す  
る医療等の用途を定める省令の一部改正について**

このことについて、平成 27 年 2 月 20 日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課薬事監視指導班長から、別添のとおり通知がありました。貴会関係者にも周知方よろしくお願いいたします。

このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 2 条第 15 項に規定する指定薬物及び同法第 76 条の 4 に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令（平成 27 年厚生労働省令第 13 号）が公布されたことに伴い、厚生労働省医薬食品局長から、各都道府県知事、各保健所設置市長及び各特別区長あて、関係各方面に対する周知と適切な指導を依頼したことについて同局長から通知されたので、その旨留意するとともに、本会会員への周知を依頼されたものです。

本件のお問合わせ先

公益社団法人

日本獣医師会事業担当：駒田

TEL 03-3475-1601

事務連絡  
平成27年2月20日

公益社団法人 日本獣医師会専務理事 殿

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課  
薬事監視指導班長

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第2条  
第15項に規定する指定薬物及び同法第76条の4に規定する医療等の用途を  
定める省令の一部改正について（施行通知）

このことについて、厚生労働省医薬食品局長より別添写しのとおり通知がありました  
ので、御留意いただくとともに、貴会会員への周知方お願いします。





薬食発0218第4号  
平成27年2月18日

農林水産省消費・安全局長 殿

厚生労働省医薬食品局長  
( 公 印 省 略 )

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律  
第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に  
規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について（施行通知）

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第2条  
第15項に規定する指定薬物等については、医薬品、医療機器等の品質、有効性  
及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法  
第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令（平成19年厚生労働省令  
第14号）において定めています。

本日、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律  
第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等  
の用途を定める省令の一部を改正する省令（平成27年厚生労働省令第22号）が  
公布されたことに伴い、各都道府県知事、各保健所設置市長及び各特別区長宛  
てに、別添写しのとおり通知しましたので、貴職におかれましては、御了知の  
上、関係機関への周知をお願い申し上げます。





薬食発0218第1号  
平成27年2月18日

各 

都道府県知事
保健所設置市長
特別区長

 殿

厚生労働省医薬食品局長  
(公印省略)

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律  
第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に  
規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について（施行通知）

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和  
35年法律第145号。以下「法」という。）第2条第15項に規定する指定薬物等  
については、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する  
法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医  
療等の用途を定める省令（平成19年厚生労働省令第14号）において定めていま  
す。

本日、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律  
第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等  
の用途を定める省令の一部を改正する省令（平成27年厚生労働省令第22号。以  
下「改正省令」という。）が公布されましたので、下記について御了知の上、  
関係各方面に対する周知と適切な指導をお願い申し上げます。

## 記

### 1. 指定薬物の指定

#### (1) 新たに指定された物質

次に掲げる6物質について、中枢神経系の興奮若しくは抑制又は幻覚の  
作用（当該作用の維持又は強化の作用を含む。）を有する蓋然性が高く、  
かつ、人の身体に使用された場合に保健衛生上の危害が発生するおそれ  
があると認められたことから、法第2条第15項に規定する指定薬物として指

定した。

- ① 1-(インダン-5-イル)-2-(ピロリジン-1-イル)ヘキサ-1-オン及びその塩類
- ② キノリン-8-イル=1-(4-フルオロベンジル)-1H-インダゾール-3-カルボキシラート及びその塩類
- ③ 1-(1-フェニルペンタン-2-イル)ピロリジン及びその塩類
- ④ 4-ベンジルピペリジン及びその塩類
- ⑤ 1-(ベンゾフラン-2-イル)プロパン-2-アミン及びその塩類
- ⑥ メチル=2-[1-(4-フルオロベンジル)-1H-インダゾール-3-カルボキサミド]-3, 3-ジメチルブタノアート及びその塩類

(2) 指定された物質を含む物

(1)に掲げる物質のいずれかを含有する物(ただし、元来これらの物質を含有する植物を除く。)は指定薬物であり、規制の対象となる。

2. 医療等の用途の規定

上記1.に示した物質について、次に掲げる用途を法第76条の4に規定する医療等の用途として定めた。

(1) 次に掲げる者における学術研究又は試験検査の用途

- ① 国の機関
- ② 地方公共団体及びその機関
- ③ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する大学及び高等専門学校並びに国立大学法人法(平成15年法律第112号)第2条第4項に規定する大学共同利用機関
- ④ 独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条第1項に規定する独立行政法人及び地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第2条第1項に規定する地方独立行政法人

(2) 法第69条第4項に規定する試験の用途

(3) 法第76条の6第1項に規定する検査の用途

(4) 犯罪鑑識の用途

(5) (1)から(4)までに掲げる用途のほか、以下の表の左欄に掲げる物にあつては、右欄に掲げる用途

4-ベンジルピペリジン、その塩類	— 元素又は化合物に化学反応を起こ
------------------	-------------------

及びこれらを含む物	させる用途 二 学術研究又は試験検査の用途（ただし、第一号に掲げる者における場合を除き、かつ、人の身体に使用する場合以外の場合に限る。）
1 - (ベンゾフラン-2-イル)プロパン-2-アミン、その塩類及びこれらを含む物	元素又は化合物に化学反応を起こさせる用途

(6) (1) から (5) までに掲げる用途のほか、厚生労働大臣が人の身体に対する危害の発生を伴うおそれがないと認めた用途

### 3. 施行期日

公布の日（平成27年2月18日）から起算して10日を経過した日（平成27年2月28日）から施行する。